

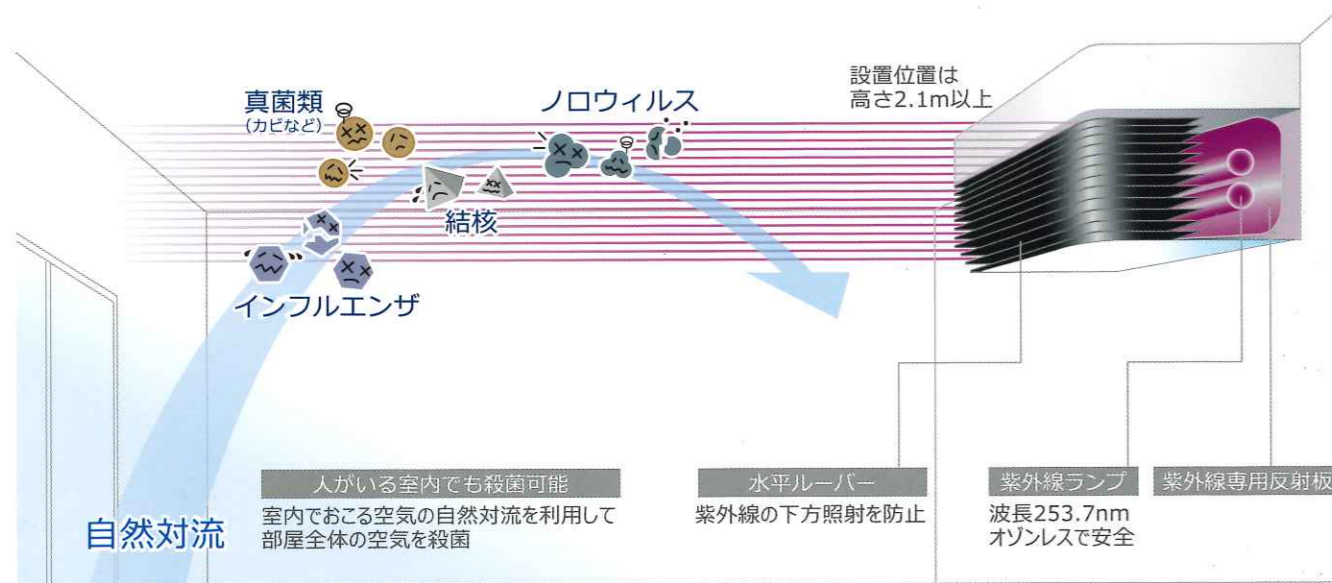
AERO SHIELD®

日本の空気感染対策は、医療施設がリードする。

しくみと効果 Mechanism and Result

紫外線の層が空気を殺菌 医療施設のあらゆる菌に効く

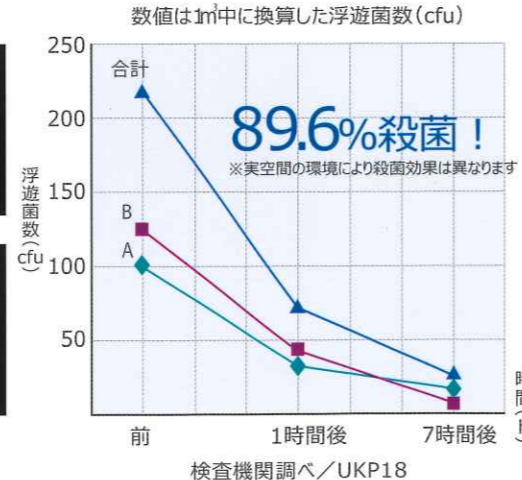
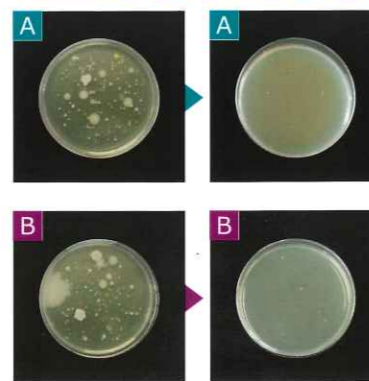
「AERO SHIELD」は高さ2.1m以上(安全基準)の天井面に紫外線の層をつくり、そこを通る空気を殺菌する空気感染対策用 紫外線殺菌装置です。紫外線の中でも高い殺菌効果を持つ「UV-C」ランプを使用しており、インフルエンザ、ノロウイルスなどのウイルス、結核菌などの細菌類、黒かびなどの真菌類にいたるまで、すべての菌に対して有効です。また紫外線が菌の核を直接死滅させるため、耐性菌が出てこないのも大きなメリット。空調や人の出入りなど屋内で起こる空気の流れを利用して、空間全体の浮遊菌に1年を通して優れた効果を発揮します。



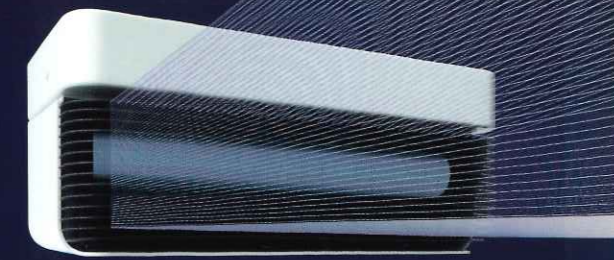
実空間 浮遊菌減少率 89.6%

「AERO SHIELD」は第三者研究機関の実証試験により、「実空間における浮遊菌減少が89.6%」と高い殺菌効果が認められています。この試験は試験用ボックスではなく実際に人が生活する広さの空間で行なわれており、実用性も証明されています。また、医療機関をはじめ様々なお客様の施設においても実証試験を行い、高い効果を確認しています。

●空気採取培養による紫外線殺菌実験



新たなウイルスの出現や、感染症の拡大がニュースを賑わせている今日。空気感染のリスクが高まる一方で、日本の空気感染対策は欧米に比べてまだまだ不十分といわれています。とりわけ医療施設での空気感染対策は、避けては通れない最重要課題——。紫外線照射による殺菌装置「AERO SHIELD」は、効率的かつ安全に空気中のウイルスを減少させる、新しい空気感染対策を提案します。



安全と信頼性 Safety and Reliability

特殊なルーバー構造で人体に安心 世界標準の本格的空気殺菌装置

高い効果と並ぶ、「AERO SHIELD」のもう一つの大きな強みは“人がいる空間で安全に使える”点。特殊なルーバー構造による紫外線の水平照射の実現で、人が生活する空間に影響を及ぼさず24時間安全に使用が可能です。またエボラ対策などにあたる米国疾病対策センター(CDC)のガイドラインに日本で唯一掲載され、その安全性と効果の高さから大学病院をはじめ、多数の施設で導入されています。

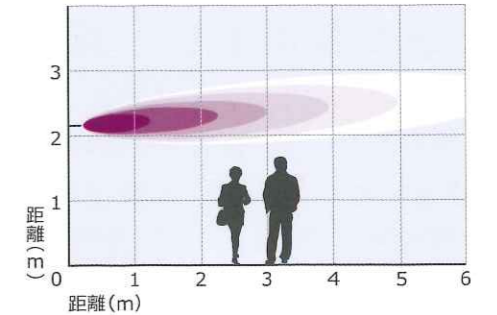
1台の殺菌範囲について

【目安】天井の高さが2.5mの一般的な部屋に、装置を2.1mの高さに設置した場合

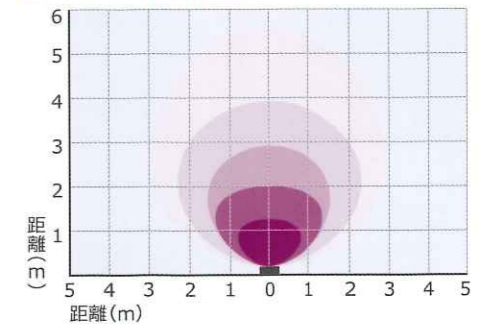
	型名	UKP09	UKP18
設置目安	立平	20~50m ³	50~120m ³
	平米	8~20m ²	20~40m ²
	畳	5~13畳	13~32畳

※部屋の状態(空気容量、気密性、空気循環など)により対応できる広さは変わります。

●紫外線分布(側面)



●紫外線対応範囲(平面)



米国疾病対策センター(CDC)ガイドラインに準拠

CDC(米国疾病対策センター)は、WHO(世界保健機関)とともに世界の感染症に対応する専門機関です。「AERO SHIELD」はCDCガイドラインに準拠した国内製品として、日本で唯一各種測定データとともに掲載されています。 ※掲載時の製品名称「エアシールド」

安全・安心のためのQ & A

- Q** 紫色の光が見えているが大丈夫なのか?
A 紫色に見えるのは可視光線で紫外線ではありません。なお、紫外線は水平方向にのみ照射されるよう設計されており、設置時および定期点検時には紫外線測定器で安全性を確認しています。
- Q** 壁に当たって反射した紫外線は人体に被害を及ぼさないのか?
A 壁に当たった紫外線はほとんど反射しません。また、通常壁に到達する前に減衰しています。
- Q** オゾンは発生しないのか?
A 本製品のランプはオゾンの発生しにくいオゾンレスタイプを採用しています。

低コスト・長寿命

長寿命高性能紫外線ランプを使用しており、24時間連続使用した場合でも、約6ヶ月に一度のランプ交換を除いて日常の保守点検などは不要です。さらに電気代も24時間で7.1円と、ランニングコストの低さも特長です。(UKP18:23円/kWで換算)

電気代	7.1円(24時間) (UKP18:23円/kWで試算)
ランプ寿命	5000時間 (UVC出力 85%維持)
平均寿命	8000時間 (点灯維持 50%)

●UV-C維持率

